



## 松葉地区青少協会長挨拶 中村 雅宏

日頃より松葉地区青少協の活動に対し、ご理解、ご支援いただき有難うございます。

松葉地区青少協は、青少年の非行防止と健全なる育成を図ることを目的として行事や講演会、パトロール等の活動をしています。学校・地域・家庭・青少年関連団体との情報交換を行い連絡調整に努めています。

今年度は昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、行事、講演会は中止しました。



星空観測については、感染症対策を取り入れ事前申し込み制にして準備しましたが、直前にまん延防止等重点措置が発出され、残念ながら中止しました。たくさんの申込ありがとうございました。

定例役員会(役員26名)を開催し、「ながら見守り」ポスターを作成し、松葉地域に掲示しました。

社会情勢の変化は有りますが、こどもたちにとって安全で安全な松葉町にするためにも地域との連携は不可欠です。これまで以上のご支援ご協力をお願い致します。



## 青少協 今年度の活動

子どもたちへの防犯・交通安全の対策として、ふるさと協議会・各町会を通じ、地域住民の方々へ「ながら見守り」をお願いし、各町会掲示板とバス停留場へのポスター掲示を行いました。

感染症対策を講じ1月に開催予定の「まつばで星空観測」は、第一・第二小学校から149家庭400名ほどの申込みをいただきましたが、急速に蔓延したオミクロン株の影響により、やむなく中止となりました。

2019年2月に開催した際は、大砲かと思うほどの大きさの「ドブソニアン望遠鏡」、望遠鏡と天体専用高感度カメラを駆使した電子観望により、肉眼では見えにくい星、冬の大三角のシリウス、オリオン大星雲、すばる、目の前にあるかのように見えた月のクレーター等々。宇宙のロマンを堪能できたことを、参加される方々に味わってもらいたかっただけに残念でなりません。新年度に開催出来ることを願っています。

今後も松葉3校と地域との連携を密にし、子どもたちの健全育成のために活動を進めていきます。  
(文・尾池 宏志)



ながら見守り掲示ポスター



2019年2月実施の星空観測  
協力 東葛星見隊

## 夏季・冬季パトロール (7月・12月・1月)

毎年、町会・自治会・PTA・学校・地域関係団体・青少年相談員・少年補導委員の協力のもと、子どもたちの見守りのため実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校・PTA・少年補導委員・青少協役員の少人数で松葉町中心の3~4コースでパトロールを行いました。(文・山内 田鶴子)



## 青少協の支援事業 柏プレパークの会「あそぼうよ」



あそぼうよでは、感染対策をしながら少しずつできる範囲での活動を再開いたしました。学校の状況なども確認しながらトライアルを重ねています。

小規模開催のためロープ遊びやコマ回し、皿回しなど、提供できる遊びは限られていますが、参加する子どもたちは楽しみにしてくれているようです。身体を使うダイナミックな遊びは屋外だからこそ。少しずつ高いところに上られるようになったり、皿回しができるように何度も練習したりすることも貴重な経験となっているように感じます。

当面は、制限のなかでの開催となりますが、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、引き続き子どもたちが自由に遊べる空間を提供できるように続けていきます。

なお、活動に賛同いただき準備や片付けなど、ご協力頂ける方を随時募集しております。よろしく願いいたします。(文・矢坂 佳美)



◆開催日時等、詳細につきましては  
ホームページをご確認ください  
<http://asoboyo.iinaa.net/index.html>